

滋賀県希望が丘文化公園活性化方針の策定について

1 趣旨

青少年宿泊研修所および野外活動施設の利用の減少や、公園内の施設の老朽化等を踏まえ、滋賀県希望が丘文化公園(以下「公園」という。)全体の魅力を向上させるために、活性化方針を策定する。

2 背景

- 平成27年12月に令和22年度(2040年度)を目標とした将来ビジョンを策定
- 将来ビジョンに基づいて、平成30年3月に令和4年度までの5年間の基本計画を策定
- 基本計画において、スポーツゾーンは陸上競技場、球技場等について改修や機能向上を図るなどとし、国民スポーツ大会に向けて優先的に整備
- 同計画において、野外活動ゾーンおよび文化ゾーンは、利用者を増やすための民間活力の活用の可能性など、活性化に向けた方策を検討することとし、併せて公園全体の効果的・効率的な管理方針の検討を行うとしている

3 方針の内容(案)

- (1)背景
- (2)現状と課題
- (3)公園の目指す姿と基本方針
- (4)活性化の方向性と効果
- (5)事業手法および事業期間
- (6)事業スケジュール

4 検討の進め方

庁内関係部局との横断的な協議や、公園活性化等検討懇話会からの意見、地元市町、青少年団体等との対話を重ねながら検討を進める。

5 スケジュール(案)

- 6月 公園活性化等検討懇話会開催
- 7月 常任委員会へ報告 [活性化方針(骨子案)]
- 9月 常任委員会へ報告 [活性化方針(素案)]
- 9月 公園活性化等検討懇話会開催
- 11月 常任委員会へ報告 [活性化方針(案)]